

環境保全活動（エコオフィス計画）H24 実績

1 対象範囲（施設）

- (1) 市長部局：本庁舎、新都心銘苅庁舎、仮庁舎、喜納ビル、やぎ第二ビル、首里支所、真和志支所、小祿支所、ｸﾘｰﾝ推進課事務室、埋立・汚水処理場、し尿等下水道放流施設、那覇市民会館、土木管理事務所、歴史博物館、焼物博物館
- (2) 教育委員会：教育委員事務局（H25.1月新庁舎へ移転）、各学校給食センター、各図書館・公民館、小学校37校、中学校17校
- (3) 上下水道局：上下水道局庁舎、古波蔵雨水ポンプ場
- (4) 消防：中央消防署、西消防署、松尾出張所、安謝出張所、小祿出張所、真和志出張所、首里出張所、国場出張所

※仮庁舎、銘苅庁舎、喜納ビル、やぎ第二ビル、土木管理事務所、教育委員会事務局（とまりん）については、H25年1月、4月から新庁舎で業務を開始

2 削減目標及び削減率（H21は基準年度）

項目 部局名	温室効果ガス (t-CO2)	温室効果ガス算定基礎項目							その他の資源等			
		電気 (kwh)	ガソリン(ℓ)	軽油(ℓ)	都市ガス(m³)	LPGガス(kg)	灯油(ℓ)	A重油(ℓ)	水(m³)	紙(枚)	ごみ(kg)	
市長部局	H24	6,072	6,133,069	61,698	40,103	13,148	9,415	21,910	—	108,422	28,346	201,144
	H23	6,053	6,019,688	67,223	50,356	13,208	15,290	27,308	—	119,424	32,401	182,555
	H21	6,913	6,988,032	68,419	65,350	9,776	14,495	33,814	—	120,565	31,607	527,589
	削減率	-12.2%	-12.2%	-9.8%	-38.6%	34.5%	-35.0%	-35.2%	—	-10.1%	-10.3%	-61.9%
	削減目標	-18.2%	-19%	-8%	-8%	-4%	-8%	-8%	—	-5%	-5%	-5%
教育委員会	H24	17,177	16,773,545	20,445	5,429	206,897	11,338	172,580	281,600	504,359	57,478	719,230
	H23	17,331	16,642,259	23,301	5,030	135,985	12,694	167,773	393,802	506,812	53,250	662,824
	H21	17,279	16,435,786	13,278	4,977	103,750	17,541	157,658	404,398	497,441	58,145	692,745
	削減率	-0.6%	2.1%	54.0%	9.1%	99.4%	-35.4%	9.5%	-30.4%	1.4%	-1.1%	3.8%
	削減目標	-7.9%	-2.7%	8.5%	-1.5%	-5.5%	-0.2%	-1.1%	-33.0%	-9.5%	-5.4%	-3.3%
上下水道局	H24	616	606,797	20,575	—	394	—	—	200	2,690	2,256	5,746
	H23	630	620,696	20,435	128	454	—	—	—	5,012	2,304	4,719
	H21	633	610,505	25,174	—	535	—	—	—	3,343	2,156	5,581
	削減率	-2.7%	-0.6%	-18.3%	—	-26.4%	—	—	—	-19.5%	4.6%	3.0%
	削減目標	-5.0%	-5%	-5%	—	-2.5%	—	—	—	-2.5%	-5%	-6%
消防	H24	1,174	984,432	65,458	33,467	9,076	606	0	—	7,714	850	24,243
	H23	1,222	1,005,740	69,480	33,712	8,418	548	3,040	—	7,931	1,800	21,860
	H21	1,152	969,571	62,265	30,135	5,699	874	2,765	—	9,843	2,077	20,915
	削減率	1.9%	1.5%	5.1%	11.1%	59.3%	-30.7%	-100.0%	—	-21.6%	-59.1%	15.9%
	削減目標	-6.1%	-7.2%	—	—	-3.5%	-2.7%	-2.7%	—	-3.5%	-3.7%	-2%
合計 (H24)	25,039	24,497,843	168,176	78,999	229,515	21,359	194,490	281,800	623,185	88,930	950,363	
合計 (H23)	25,236	24,288,383	180,439	89,226	158,065	28,532	198,121	393,802	639,179	89,755	871,958	
合計 (H21)	25,977	25,003,894	169,136	100,462	119,760	32,910	194,237	404,398	631,192	93,985	1,246,830	
削減率	-3.6%	-2.0%	-0.6%	-21.4%	91.6%	-35.1%	0.1%	-30.3%	-1.3%	-5.4%	-23.8%	

※削減目標の設定はH27としている。削減率は、基準年度のH21との比較となっている。

※本庁舎(仮庁舎)及び銘苅庁舎における電気量及び料金の削減状況（表内の「削減状況」は、基準年度のH21との比較）

本 庁 舎	H24	¥30,631,077	1,318,760 kwh
	H23	¥23,909,018	997,260 kwh
	H21	¥41,213,479	1,594,928 kwh
削減状況	¥-10,582,402	-276,168 kwh	

※H24.12月まで仮庁舎、H25.1月以降新本庁舎

銘 苅 庁 舎	H24	¥14,179,375	624,282 kwh
	H23	¥15,463,931	711,929 kwh
	H21	¥14,611,530	712,051 kwh
削減状況	¥-432,155	-87,769 kwh	

※H25.1月からは、銘苅庁舎のほとんどの部署が新庁舎へ引っ越し。

3 総括

総括	<p>平成24年度は、新庁舎が完成したことで目標設定の考え方などが比較できない部分もあるが、全体的にみると温室効果ガスについては、平成23年度や基準年に比べ削減できている。まだ1年を通じた分析ができないが、新庁舎は施設も大きくなり設備も増えている中で、全体的にみて削減できているということは、職員一人ひとりの環境への意識が高いことが理解できる。</p> <p>今年度は、新庁舎でのエネルギー使用状況についてを1年間調査し、エコオフィス計画の目標数値に合わないところを分析するとともに、現在策定中で平成26年度スタート予定の那覇市環境基本計画との整合性を図りながら改訂していく。</p> <p>これからも更なる環境保全活動の推進に向けて、エコ活動を推進していきたい。</p>
----	--

4 各部局の考察及び所見（表2に関する所見）

部局名	考察及び所見
市長部局	<p>①電気について 電気使用量については、基準年である平成21年度に比べると-12%と大幅な削減ができていますが、前年度との比較では1.9%、約2%の増となっている。約113千kwh増えたことになるが、施設拡大によるものと思われる。</p> <p>②ガソリン及び軽油について ガソリンについては、今年1月からのカーシェアによる使用減ではないかと思われる。また軽油については、クリーン推進課で使用していた公用車の減による使用減と思われる。</p> <p>③都市ガス及びLPガスについて 都市ガスは横ばいだが、LPガスは減少している。要因としては、クリーン推進課で使用していたLPガス車の台数の減に伴う使用減と思われる。</p> <p>④その他の資源について ごみ排出量は増加しているが、平成24年度は新庁舎への引っ越しがあり、それに伴う産業廃棄物が大量に出たための増と思われる。</p>
教育委員会	<p>①電気について 前年度と比べ微増。・小中学校（天久小開校）、図書館公民館（ほしぞら1年間実績）における増。 ・那覇給食センターの廃止による減。事務局（とまりん：H24/4月～H25/1月中旬）における実績減。</p> <p>②ガソリンについて 小中学校における実績減（天久小に公用車の配備なし）。</p> <p>③軽油について 学校給食センターにおける実績増。</p> <p>④都市ガス及びLPガスについて 都市ガスについては、天久小開校、小規模調理場（天久・安謝）新設に伴う増。 LPガスについては、小中学校における実績減。那覇学校給食センター廃止。</p> <p>⑤灯油及びA重油について 灯油については、学校給食センター及び小中学校における実績増。 A重油については、那覇給食センターの廃止による減。</p> <p>⑥その他の資源について 水使用量については、小中学校、学校給食センターにおける実績増。 紙使用量については、天久小学校の開校、小中学校における実績増。 ごみ排出量については、学校給食センター及び小中学校における実績増。</p>
上下水道局	<p>①電気使用量 職員等の節電意識が高まったこともあり空調機のオートルーバー活用による室温調整、不要箇所の消灯、パソコン等の待機電力削減等により、電気使用量が前年度に比べ減少しました。</p> <p>②ガソリン使用量 下水道課車両1台増加により、前年度に比べ僅かながら増加しました。低燃費車の導入及びエコドライブを引き続き推進していきます。</p> <p>③都市ガス ガス空調を導入している庁舎B棟の空調利用が減少したことが、前年度に比べ使用料が大幅に減少したことが要因と考えられます。※コミュニティルーム：庁舎B棟2階。コイン式のガス空調</p> <p>④水道（上水道）使用量 庁舎の一部で再生水を利用していますが、平成23年度は設備の不具合により一時的に利用ができなかったことから上水道の使用量が増加していました。 平成24年度は、再生水設備の補修が完了したことから、前年度と比較して大幅に減少しました。</p> <p>⑤ごみ排出量 庁舎において、再利用・分別・資源化を図ってきましたが、例年に比べ台風の接近が多かったことから、散乱した草木の処分等が前年度に比べ排出量が増加したと思われる。引き続き、再利用・分別・資源化に努めていきます。</p> <p>⑥OA用紙の増加について 裏紙の再利用等により削減に成功しました。引き続き裏紙の再利用・ミスコピー防止等、呼びかけていきたいと思えます。</p> <p>上下水道局の総括 平成24年度は電気使用量・都市ガス・水道・OA用紙の使用量の削減ができました。エコに対する職員の意識が向上しています。引き続き、職員への呼びかけを続けていきたいと思えます。</p>
消防	<p>①電気使用量 消防本部庁舎において講堂使用（貸出）に伴い、クーラー、照明及びエレベーター稼働率が上がったことによる増と思われる。（本部庁舎以外の署所については、昨年度より減少。節電の成果が確認できた。）</p> <p>②ガソリン・軽油使用量（削減対象外） ガソリン及び軽油は、消防車及び救急車の燃料である。 （1）救急出動件数の減少（2）救急隊1隊増隊に伴う1台あたりの走行距離の減少（3）新車2台が更新されたことによる、新型車両の燃費向上、以上3点がガソリン使用料減少の要因と思われる。 軽油は前年度とほぼ同等と思われる。</p> <p>③都市ガス・LPガス使用量 都市ガスについては、小祿出張所の灯油ボイラーを撤去し、都市ガス製のボイラーを設置したことによる使用量増が原因と考えられる。 LPガスについては、台風の襲来回数が前年度と比較すると増加したことで、非常招集が多かったため、使用量が増加したと思われる。</p> <p>④水使用量 職員の節約意識向上が表れたものと推測される。</p> <p>⑤ごみ排出量 ごみ収集業務委託業者から提出された資料（データ）を元に集計。 平成24年度は、例年と比較して台風の襲来が多かったことから、消防現場での活動後の廃棄物や清掃等で増加したものと推測される。</p> <p>⑥紙使用量 職員の節約意識向上が表れたものと推測される。裏紙使用及び両面印刷は浸透している。</p>